

# 家畜衛生情報

香 川 県 畜 産 課  
 TEL(087)832-3426~8 FAX(087)806-0204  
 香 川 県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所  
 TEL(087)898-1121 FAX(087)898-9558  
 香 川 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所  
 TEL(0877)62-0020 FAX(0877)62-3299

## 香川県で発生した高病原性鳥インフルエンザの疫学調査結果について (高病原性鳥インフルエンザ疫学調査チーム報告書から)

### ウイルスの侵入経路

- ・今期国内における死亡野鳥でのウイルスの確認は島根県、兵庫県、東京都の3都県のみであったが、香川県で検出されたウイルスとは明確に区別された。一方、韓国の野鳥から検出されたウイルスと極めて近縁であったことから、ウイルスはH29年11月以降に渡り鳥により日本に侵入し、日本の広い地域に存在していたと考えられた。
- ・当該鶏舎の周囲には、ウイルスに感染した鳥類を含む野生動物及びその排せつ物によりウイルスが存在していたと推察され、そのウイルスを①ネズミ等の野生動物が鶏舎内に持ち込んだ可能性、②人が手指、衣服、靴底等に付着させて持ち込んだ可能性が考えられた。

### ウイルスの特徴

- ・今回分離されたウイルスはH5N6亜型で、遺伝子解析の結果、H28年度の冬にヨーロッパで流行したH5N8亜型とユーラシア大陸の野鳥で循環しているN6亜型が再集合したものと推察された。

### 鶏に対する病原性

- ・感染試験の結果から、今回のウイルスは鶏に対して高い致死性を示すが、感染の成立には比較的多くのウイルス量が必要であることが推察された。
- ・感染した鶏から排泄されるウイルス量は、これまでに国内で分離されたウイルスに比べて1/10から1/100程度と少ないことが示され、感染鶏の割合が少ないと伝播しにくいことが示唆された。

### 侵入防止対策について

さぬき市での発生から既に半年が過ぎましたが、県では今回の防疫対応の教訓を踏まえたマニュアルの改正や防疫体制の強化を進めています。家きん飼養者の皆様においても、渡り鳥の飛来シーズンを迎える前に、改めて飼養施設の破損等の改善や消毒設備の点検など、病原体の侵入防止対策の徹底をお願いします。

## 家畜伝染病・伝染性疾病発生状況 (近県)

疾 病 名	畜種	発 生 場 所	発生時期	発生戸数	発生頭羽数
牛白血病(届出)	牛	兵庫県、岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、愛媛県、徳島県、高知県、香川県	H30.3~H30.6月	107	117
牛ウイルス性下痢粘膜症(届出)	牛	兵庫県、香川県	H30.3~H30.5月	3	7
破傷風(届出)	牛	山口県	H30.3月	1	1
牛伝染性鼻気管炎(届出)	牛	兵庫県	H30.4月	1	1
豚丹毒(届出)	豚	兵庫県、広島県、鳥取県、島根県、徳島県、高知県、香川県	H30.3~H30.6月	21	47
豚繁殖・呼吸障害症候群(届出)	豚	香川県	H30.4月	1	1
鶏痘(届出)	鶏	広島県	H30.5月	1	4
伝染性気管支炎(届出)	鶏	香川県	H30.6月	1	3
マレック病(届出)	鶏	高知県	H30.3月	1	4
伝染性ファブリキウス嚢病(届出)	鶏	香川県	H30.4月	1	2
バロア病(届出)	蜜蜂	広島県	H30.5月	1	1
アカリダニ症(届出)	蜜蜂	広島県、鳥取県、島根県	H30.3~H30.6月	6	9

## 輸入乾牧草による牛のエンドファイト中毒にご注意を (平成30年度牛疾病特殊講習会から)

エンドファイトとは、植物と共生している細菌や真菌のことで、これらの菌が毒素を産生し、牛に中毒を起こすことが知られています。近年でも散発的に中毒事故があり、2017年にも全国で1戸6頭の発生がありましたのでご注意ください。

### 【原因】

エンドファイトの産生した毒素に汚染されたペレニアルライグラス（商品名イタリアンストロー）やトールフェスクのストローの採食。

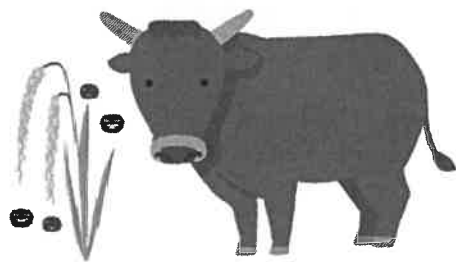
### 【症状】

頸部や体の表面の筋肉のけいれん（プルプルした震え）、足の突っ張り、ふらつき、起立不能、耳や尾、ひづめ等の壊疽。

### 【対策】

汚染の可能性のあるストローを使用する場合は、単味での給与は避け、他の乾牧草と併せて給与しましょう。これにより毒素摂取量を減少させることができます。（毒素に対する感受性は乳用種よりも黒毛和種で高いとされています。）

神経症状等が見られたら、直ちに給与を中止し、最寄りの家畜保健衛生所へご相談ください。



## 豚流行性下痢の発生に注意しましょう！

豚流行性下痢（PED）の主な症状は元気消失、食欲不振、嘔吐及び水様性下痢ですが、感染豚の日齢等により様々な症状を示すため、臨床症状のみで本病と判断することは困難です。現在、他県では継続して発生が確認されており（平成30年6月13日現在8県、34農場）、侵入リスクは依然として高い状態にあります。農場内で次に示す症状のいずれかに該当する家畜を発見した場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に通報してください。

- ① 複数（周辺農場で本病が発生している場合には1頭）の繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち、半数以上が水様性下痢、嘔吐又は死亡
- ② 同一繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち、1頭以上が水様性下痢若しくは嘔吐又は死亡し、半日以内に同一腹の哺乳豚又は他の繁殖母豚が分娩した哺乳豚に同一症状が拡大
- ③ 同一飼養区画内で複数の繁殖豚又は肥育豚（離乳豚も含む）が、食欲不振、下痢（軟便から水様性）又は嘔吐
- ④ 上記のいずれにも該当しない場合であっても、通常と異なる下痢、嘔吐、食欲不振、死亡等の症状が確認された場合

本病の伝搬は、感染豚の糞便を介した直接的又は間接的な経口感染が主であるため、感染豚の導入、感染豚の糞便に汚染された人、車両及び物品の持込等によって、病原体が農場へ侵入すると考えられています。このため、農場・畜舎・と場出入口での消毒、導入豚の隔離観察、豚舎・と場専用の作業着、長靴の設置、野生動物の侵入防止といった飼養衛生管理基準の遵守の徹底による発生予防対策を実施してください。また、本病の発生被害を低減するためには、平時からの継続的ワクチン使用が望ましいため、積極的なワクチン接種に努めてください。



## 動物検疫所における家畜伝染病侵入防止について (家畜衛生講習会基本講習から)

動物検疫所は1本所、8支所、16出張所あり、指定された海港(58か所)及び空港(43か所)において、動物(牛、豚、山羊、めん羊、馬、鶏、うずら、きじ、だちょう、七面鳥、あひる、うさぎ、みつばち等)の検疫及び畜産物(肉、乳製品、卵、骨、血液、皮、毛、羽、角、精液、受精卵等)の検疫を実施し、家畜伝染病の国内への侵入を未然に防いでいます。

家畜伝染病予防法により、ほとんどの国からの畜産物を日本に持ち込むことは禁止されています。不正に持ち込まれた畜産物を押収し検査したところ、鳥インフルエンザウイルスやニューカッスル病ウイルスが分離された事例が確認されています。(下表参照)

近年、畜産農場においても外国人技能実習生等の受入が増えていることから、国際郵便等による不正な畜産物が日本へ持ち込まれることのないよう、受入農場においては実習生に注意喚起をお願いいたします。

	畜肉種	分離ウイルス(株数)	調査時期
中国	あひる肉	鳥インフルエンザ H7N9 亜型 (1株)	平成 28 年度
ベトナム	鶏肉	ニューカッスル病ウイルス (1株)	
中国		鳥インフルエンザ H9N2 亜型 (1株)	
ベトナム		鳥インフルエンザ H9N2 亜型 (2株)	
中国	あひる肉	鳥インフルエンザ H7N3 亜型 (1株)	平成 29 年度
		鳥インフルエンザ H7N9 亜型 (1株)	
		鳥インフルエンザ H7N9 亜型 (1株)	
台湾	鶏肉	鳥インフルエンザ H5N1 亜型 (1株)	
		鳥インフルエンザ H6N1 亜型 (1株)	

押収された肉製品からのウイルス分離状況



## イノブタ農場における離乳後多臓器性発育不良症候群(PMWS)への対策 (近畿ブロック家畜保健衛生業績発表会から)

離乳後多臓器性発育不良症候群(PMWS)は、豚サーコウイルス2型感染が主原因ですが、他のウイルス、細菌やストレスなどが発症や増悪化のリスクファクターになります。2~3か月齢の離乳豚に発育不良、削瘦、呼吸器症状、下痢、黄疸等が認められる疾患で、離乳豚の事故率を上げる原因のひとつです。

和歌山県のある地域の特産品であるイノブタを生産する一貫経営農場(母豚80頭)で、離乳豚の高い死亡率や発育不良が問題となっていました。死亡豚の病性鑑定をしたところ、死亡の主な原因はPMWSとマイコプラズマの感染であったことから、これまで実施していなかった豚サーコウイルスとマイコプラズマのワクチン接種を開始しました。併せて、ストレスの軽減(飼養管理の改善:床の改良、保温、飲水器の改良等)を行いました。

これらの対策により、離乳豚の死亡率は大幅に減少しました(改善前19.4%→改善後3.7%)。

適正なワクチン接種と基本的な飼養管理が大切であることを再認識させられた事例でした。

ワクチン接種等について疑問があれば、お近くの家畜保健衛生所にご相談ください。



## 新人だより

今回は、畜産試験場の2名を紹介します。

はじめまして。畜産試験場で酪農・肉牛担当をしている**傍示和**（かたみのどか）と申します。出身は、九州の長崎と福岡の間（観光地というより丁度、通り道）の佐賀県です。高校生まで佐賀で過ごし、その後フラフラとしながら青森の大学を卒業し、平成30年度より香川県の県職員として働いています。青森にいる間は、短い夏と長い冬に挟まれてこたつを1年中出していました。その一方で、雪には困らないためウィンタースポーツを楽しんでいた…と思いきや運動音痴が故に一度も楽しむことなく、むしろつるつると硫黄の匂いのした温泉巡りをよくしていました。

香川県に来て、まず一番ビックリしたことは高松市の人口や車の多さです。ペーパーゴールドドライバーの私は今でもパツとバックミラーを見ると煽られています。安全運転で最近はどうん屋巡りに邁進しております。

試験場で働きだしてから実際に牛に触れ業務を行う中で、知らないことや新たな発見に日々刺激を受けています。まだまだ、ひよっこで日々勉強の未熟者ではございますが、一日でもはやく香川県の畜産を支えていける一員になりたいと思います。よろしくお願ひします。



はじめまして。平成30年度採用で、畜産試験場養豚担当に配属となりました**豊嶋愛**と申します。出身は、三豊市の高瀬です。県外の大学に通っていたため10年振りの香川県ですが、穏やかな気候で大変過ごしやすく、社会人生活を満喫しています。県出身ではありますが、地元以外を出歩くことがほとんどなかったため、知らないことが多くあります。新人だよりを書かせていただいている現在、季節は「夏」ということで香川県の魅力をもっと知るため、各地の夏祭りに出かけようと思っています。大学時代を過ごした岩手県では「盛岡さんさ祭り」に、鳥取県では「鳥取しゃんしゃん祭り」にそれぞれ踊り子として参加し、今年は、高松祭りに県庁連の踊り子の一人として参加予定です。高松祭りを通じて香川の魅力を知り、発信していければと考えています。

配属から3か月を過ぎましたが、生き物相手の仕事は毎日が新鮮でやりがいを感じます。未熟者の私ではありますが、早くみなさまのお役に立ち、香川県の畜産を盛り上げる支えとなれるよう精進いたします。どうぞよろしくお願ひします。



### <お知らせ>

#### ○第82回香川県畜産共進会

乳用牛（第1部）・肉用種牛（第2部）：11月8日（木）綾川町 香川県家畜市場  
 肉豚（第3部）：10月26日（金）、27日（土）坂出市 株式会社香川県畜産公社  
 肉牛（第4部）：12月4日（火）、7日（金）坂出市 坂出食肉地方卸売市場  
 知事賞授与式（第1部～第3部）：11月25日（日）高松市 サンメッセ香川

○乳用牛等を輸入した時は、ヨーネ病対策要領に基づき、必ず着地検査を受検してください！  
 検査に関するお問合せは、管轄の家畜保健衛生所にご連絡ください。